



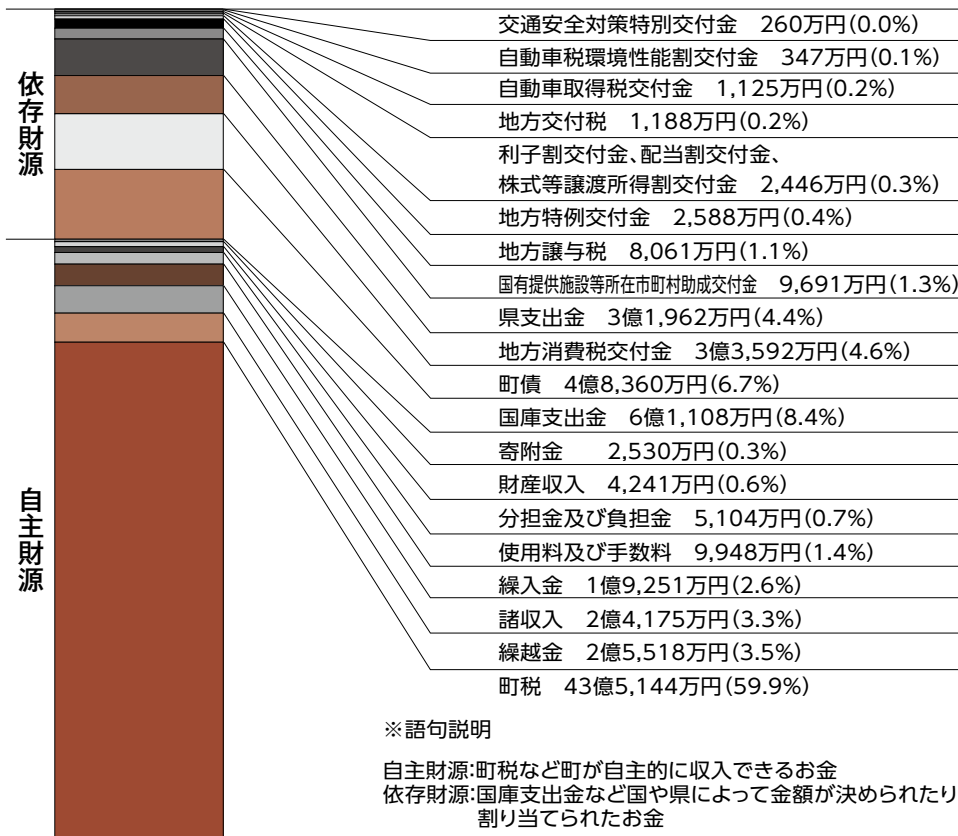
特集

令和元年度

決算報告

新しい時代にふさわしい まちづくりの実現へ

歳入 72億6,639万円



令和元年度決算についてお知らせします。
 一般会計の歳入は72億6639万円で、予算現額に対して98・3%の収入率でした。歳出は効率的な執行の結果、67億494万円となり、予算現額に対して91・2%の執行率でした。
 今月号では昨年度の歳入と歳出の執行状況と、財政健全化法に基づく健全化判断比率と資金不足比率の算定結果についてご報告します。

歳入

歳入総額は、個人町民税、法人町民税及び国庫支出金の増加により、前年度比5億9511万円の増収となりました。

平成20年度から導入した都市計画税は、都市計画事業を対象とした目的税

歳出

歳出総額は、前年度比3億2884万円の増加となりました。

目的別歳出では教育費で3億236万円の増加(対前年度比プラス28・5%)、消費費で1億1500万円の増加(対前年度比プラス37・0%)となる一方で、土木費は1億54万円の減少(対前年度比マイナス14・5%)となりました。

であるため、下水道の整備費に充当しました。

令和元年度には、森林環境譲与税が創設されました。この譲与税は、木材利用の促進や普及啓発等に要する経費に充てるため、豊山町森林環境譲与税基金条例に基づき、全額を基金へ積み立てました。